

WACATE Magazine Vol.6

＊ ご挨拶 ＊

猫員御礼！



こんにちは。WACATE-Magazine 編集部です♪

WACATE 2009 夏へのたくさんのご応募
誠にありがとうございました。

前々回、前回に負けない楽しさと
さらなる豪華ゲストをお招きしてお送りする予定です♪
実行委員全員で鋭意準備中です！お楽しみに♪

WACATE 2009 夏当日は晴れるといいですね★

でわ、WACATE 2009 夏直前の WACATE-Magazine をお送りいたします！

✦vol.6のお品書き✦

- p.01 ご挨拶/お品書き/WACATE TOPICS
- p.02 【特集】 WACATE 2009 Summer 直前! Report
- p.05 【連載】 ゆもつよの「はい、こちらテストニング事業部」
- p.06 【一般】 WACATE Short Short vol.2 Report!
- p.10 【リレーコラム】 せんばいにきく。
- p.11 【リレーコラム】 ワカテにきく。
- p.12 【トピックス】 SoftwareTestTopics
- p.14 【連載】 池田暁の「ミュージカルに恋して」
- p.16 【リレーコラム】 WACATE-Blog 出張所
- p.17 【連載】 源太郎の「開運ソフトウェアテスト占い」
- p.18 お知らせ/編集後記/おくづけ

✦WACATE TOPICS✦

- [News] 5/29 満員満員、合計 60 名の参加が決定しました！！
- [News] WACATE Short Short vol.2 開催いたしました！
- [News] WACATE Short Short vol.3/vol.4 開催が決定いたしました！

WACATE2009Summer 直前！ Report!!

■はじめに

さてさて。本当に直前まで迫ってまいりました **WACATE 2009 夏!**

今回の Magazine では「WACATE 2009 夏 直前 Report」として、前号から更に情報を公開していきたいと思っています！ネタバレしすぎないように注意します！w



■コッソリ情報公開。

前号の特集において「**班に分かれてレビュー設計からしていただきます!**」とご紹介しましたが、今回は**更に踏み込んでご紹介**します！

前号においていろいろな想像をされた方もいらっしゃると思いますが、WACATE 2009 夏では班ごとに分かれて以下のアクティビティに取り組んでいただきます。

「**チームビルディング**」：チーム編成等を決める。

「**レビュー計画**」：レビューの計画を立てる。

「**レビュー実施**」：レビューを実施する。

「**レビュー結果報告**」：レビュー結果を報告する。

各アクティビティに対して STEP を用意しました。STEP 毎に各班でしっかり議論したうえで、OUTPUT を提出していただきます。

中にはいくつか仕込みが入っていますので、きっと楽しんでいただけていると思います。なお、**最初にレビュー手法等の説明等は行いますが、ある程度予習していただくことをオススメ**します。(というか、予習しないとツライかも。)

大筋はこんな具合ですが、詳細は当日までのお楽しみとしておきますね^^

なお、Short Short vol.2 に参加された方には少しだけ公開しましたが、今回は去年の夏に勝るとも劣らないハードな演習となっています。

「WACATE 2008 夏」に参加したコヤマンから軽くアドバイスをさせていただきますと…

- ・手段を目的にしないこと。
- ・お互いの意見を尊重すること。
- ・一人の意見に振り回されないこと。(自分の意見を貫きすぎないこと。)
- ・納得のいかないところはしっかり相談すること。
- ・チームで決断をし、ベクトルを合わせること。
- ・時間配分に気を配ること。

…といった注意点が挙げられます。以上を参考にしていたら、よりよい演習になるかなと思います。

“イエスマン”にはならないようにしましょう。(簡単に言うと、納得のいかないところは納得がいかねえ!とハッキリ意思表示しましょう。)

チーム内の関係はフラットです。遠慮せずにかしこみディスカッションしましょう^^

■注意事項

なお、今年は去年と違って**残業ができる環境ではありません**。厳しいかも知れませんが、時間内に終わらせるようにしてくださいね。

■リハーサルの感想

では、一足先にリハーサルとして演習に取り組んでいた**実行委員会チーム「JCP」**(山崎さん、村上さん、澤田さん、加文字さん)に感想をお聞きしたいと思います！



—実施してみて、どのような感想をお持ちしましたか？

澤田「**疲れました。リハーサルといつつ、本気出しました。**」

山崎「**ハードというのが第一印象。リハーサルだということに、終わった時にはどっと疲れました(;'Д')**」

—どの辺が上手くいきましたか？

加文字「**時間通りの進行は出来たと思います。やれることはたくさんありますが、時間との兼ね合いでやらないことをしっかり選択してバッサリきっていくのが重要だと思います。**」

山崎「**与えられた時間の中で如何に効率的で効果的な結果を出せるかという姿勢を出せたと思います。実際の仕事と同じですね(σ—)σ**」



一どのへんがマズいと思いましたか？

澤田「作業を進めながら『そういえば…』『さっきのこれは…』と、戻ってばかりだったこと。やりながらの気づきだったのでこれはこれでいいのかもしれませんが、人数が多いと大変かもしれませんね。(リハチームは4人で実施)」

一ぶっちゃけ、楽しめましたか？

加文字「モチのロンです。お菓子をつまんだりとお和気あいあいとしつつも、全員一丸となって取り組む楽しさがたまりません。」

澤田「はい。個人的に今回はイチ参加者として参加したいなあと思っていた内容だったので、短い時間の中でこれまでの経験を交えて色々と議論でき、とても参考になりました。時間足りないよ！業務でもこれくらい集中できたらいいのに…」

山崎「もちろん!! 実行委員の中でも各員のバックグラウンドは異なるので、自分には無い視点での意見などは参考になるだけでなく、それだけでも楽しいですよ(´▽`*)ウワ」



一ところで、チーム名の由来はなんですか？

山崎「特に意味はありません。皆がいろいろ言っているようですが、まあ、生暖かい目で見守るのも副実行委員長の仕事らしいですよ?(´ρ`)」

加文字「山崎さんお気に入りの日本男子下着『ふんどし』の英語名です。三浦で海も近いですし。」

澤田「副実行委員長のY崎さんオススメの一品からです。チーム名にしちゃうほど愛用しているとの噂です!-:-)」

一では最後に WACATE 2009 夏の参加者の皆様に一言!

加文字「三浦で WACATE と握手! 今年の夏は夜の分科会でも盛り上がりましょうー

ポジベ提出は早めにね☆ (でんこちゃん風)」

澤田「インジョイ!」

山崎「レビューで一欠陥を出す事に注かし過ぎると、あっという間に時間が無くなります。レビューというプロセス全体を考えてタスクを進めていくと良いかなあと思いました。

残業ありきでの作業は勘弁な(°▽°)

チーム「JCP」の皆様、有難うございました☆



■モデレータあだちさんから一言

今回モデレータとして立ち上がってくださった WACATE 実行委員会のあだちさんにインタビューしてみました☆

あだちさんは [ThinIT にレビュー記事を寄稿](#)したり、[Software Quality.com](#) というご自身のサイトでレビューを詳細に紹介、[JaSST'07 札幌においてピアレビューWS を実施](#)などのご活躍をされています。

一あだちさんにとって、レビューの魅力とはなんですか？

あだち「直接欠陥を”わしづかみ”出来る、超パワフルなアクティビティであるところですよ。」

一レビューにおける失敗談や珍事件などありますか？

あだち「実は先日もやっちゃいました…。そんなイ・ケ・ナ・イ・事例も会場で紹介しますね。」

一WACATE 2009 夏に向けて、あだちさんの意気込みを教えてください。

あだち「ノウハウを総動員しつつ、ワクワク楽しみながら対応したいとおもいます。さあ、どこからでもかかってきなさい!」

一WACATE 2009 夏参加者の皆様に何か一言、熱いメッセージを!

あだち「皆さん、一緒にアツ〜いなツを過ごしましょう! 会場でお待ちしています!」

あだちさん、ありがとうございました。

■最後に

さてさて。WACATE 2009 夏開催間近ということで特集をお届けいたしましたが、いかがでしたでしょうか? 当日のイメージがいくつか掴めればと思います。

リハーサルをやっているのを見たところ、凄く楽しそうだったので「あ〜! 僕も参加したい!」と思ってしまいました^^

では皆様、会場でお会いしましょう!

会場までの地図は次のページを参考にね★

(Magazine 編集部)

Route for Maholova-Minds

ここでは、WACATE 2009 夏の会場である
マホロバ・マインズ別館までの道のりをご紹介します!!

1. スタート地点の三浦海岸駅。改札を出て
左斜め前にはマホロバ・マインズの本館が
見えます。これを目印にレッツらゴー!

8. どうとうゴールのマホロバ・マインズ
別館。お疲れ様でした!!

Goal



6. 坂を上りきると、目印にして
きたマホロバ・マインズの本館に
着きます。しかし、ゴールは別館!!
ここは素通りしてまっすぐ進みましょう!



Start



7. 最後の分岐点!!
ここを右折すればゴールは目
前!!



2. ここが最初の分岐点! 路地の入り
口をよ〜く見てみ
よう!!



3. 路地の入り口には
マホロバ・マインズ
の看板が!! 地図も載っているの
で確認しよう!! この路地に進入し
ます。



5. 第3の分岐点。ここで左折する
と心臓破りの坂が現れる!! 日
頃の運動不足を実感しますw



4. 第2の分岐点。T 字路を右に向か
います。というか、右前にはマホロ
バ・マインズの本館が既にみえて
います!!

(地図作成: やまさき、写真撮影: コヤマン)

ゆもつよの「はい、こちらテストング事業部」

第4回 そのテストを上手くやり遂げるためにどんな事をしていますか？(2)

著者：湯本 剛(YUMOTO Tsuyoshi)

メーカーソフトハウスで10年ほどテスト業務をした後、現在は豆蔵にてテストプロセス改善コンサル、テスト教育講師に従事。5月2日、日本の誇るバンドマン忌野清志郎さんが他界してしまいました。素晴らしい数々の曲は永遠に残りますが、一つの時代が終わってしまったという虚しさから抜けられません。



今回で4回目の「はい、こちらテストング事業部」。前回の続きということで、「**テスト戦略**」について続きを書いてみたいと思います。

前回は、「テスト戦略」に関して、ISTQBの[アドバンスシラバスの「3.2.2 Test Strategy」](#)の冒頭の一節を引用し、テスト戦略とは、**組織のテストングのやり方であること**、そのやり方には、**プロダクトとプロジェクトのリスクマネジメントとテストレベル分割に関する事が含まれる**と言う話までしたところで終わりました。

テストングのやり方としてもう一つ考慮すべきとされているのが、「**テストングにまつわる上位水準の作業達 (high-level activities)**」です。

上位水準 (high-level) というと、ピンときませんが、要は、テストを何のためにするのかとか、テストプロセスはどうするかとか、テストの結果をどう報告しプロジェクトの品質に対する見解に貢献するかというような、**そもそも最初に決めておくべきようなこと**を指しています。この連載の最初にやった、品質とかテストの目的なんかの話が関連してきます。具体的に仕事を進めていくときの道しるべとなることを決めておくと言うイメージでよいでしょう。いわゆる**上位方針**というやつです。方針に関しては、ISTQBでは「**テストポリシー**」と言う用語で以下のように定義しています。

A high level document describing the principles, approach and major objectives of the organization regarding testing.

テストングに対する**原理原則 (principles)**、**アプローチ**、**主要な目的が示されているのがテストポリシー**だということですね。テストポリシーとテスト戦略に関して、アドバンスシラバスでは次のように追記されています。

The test strategy, and the process and activities described in it, should be consistent with the test policy. It should provide the generic test requirements for the organization or for one or more projects.

「**テスト戦略と、テスト戦略の中で示されるプロセスやアクティビティはテストポリシーと調和しているべき**」だそうです。でもって、「**組織やプロジェクトにとっての包括的なテストへの要求として提供すべき**」だとしています。

まとめると、

- ・ **テスト戦略は、テストングのやり方をまとめたもの**
- ・ 「やり方」では、**リスク (心記事)** への対策が考慮できている
- ・ 「やり方」では、**テストレベルが考慮できている**
- ・ 「やり方」では、**テストングにまつわる上位で行う活動についても考慮できている**

となります。

具体的には、「**分析的アプローチ (例えば、品質リスク分析を行いテストすることの優先度をつける方法)**」、「**モデルベースアプローチ (例えば、運用方法をまとめて、そのパターンを優先的に網羅する方法)**」、「**コンサルベースアプローチ (例えば、エンドユーザ/開発者など外部の助言からテストすることの優先度をつける方法)**」、「**動的かつ経験則的アプローチ (バグ分析をベースに優先度を判断する方法)**」などが典型的な例として紹介されています。(これはファンデーションシラバスと同じですね。)

ただ、シラバスに載っているのは典型的な例というだけで、**それが戦略の全てと言うわけではありません**。自分達のテストの**上手いやり方もあるでしょうし**、(これはシラバスにも書かれていますが) **複数のやり方を組み合わせて、独自の上手いやり方としていくもの**です。それに、上記典型的な例は、**全体的にテスト内容の優先度付けに焦点が当たっていますが**、**テストを効率的に進めるための人の役割分担や設計との関係なんかも一緒に考えなければなりません**。(これも上位水準の作業の一環ですね。) 結果的に**各自で考慮すべきことを考慮して纏め上げたアプローチ群を「テスト戦略」とするわけ**です。

なんとなくイメージできてきたでしょうか? 「戦略」と言う、ものすごいことのように聞こえますが、単に「**上手くやるために頭を使う**」といいよ、と言っているだけなんです。ただそれだけです。

ということで、今回はここまで。実は、「こちら、テストング事業部」は全6回の予定ですが、あと2回はどのようなかはまだ決めていません。もしリクエストがあれば編集部まで連絡ください。

WACATE Short Short vol.2 Report!

■挨拶

こんにちは、おたべです。

去る5月23日(金)にWACATE Short Short Vol.2「もっと外へ飛び出そう!! ハイキング大会」が開催されました。今回はそのイベントの運営役として、普段屋内で会っている時とはまた違うメンバーの一面を交えてイベントの様相を紹介させていただきます。

■WACATE Short Shortとは

自称 WACATE ファンによるオフ会イベントです。特色は何と言っても**企画から運営までファンが主体になって行う**こと。今回のハイキングは地元ならではの強みを生かし、万全の準備をしつつも臨機応変にその場の状況に対応しながら、ファン同士の交流を深めつつ WACATE 2009 夏直前の体カアップも目指す一粒で二度も三度も美味しい企画です。

■ハイキング概要

- ・10時 : JR 青梅線の御嶽駅に集合し、御岳山のケーブルカーまで徒歩で移動
- ・11時 : ケーブルカーを降り、御岳神社に向けて出発
- ・11時半 : 御岳神社から日ノ出山に向けて出発
- ・12時半 : 日の出山山頂に到着後、お昼イベント「食べて覚える HAYST 法」を実行
- ・14時 : 御嶽駅まで帰る
- ・16時半 : 立川駅まで戻って銭湯後に宴会

■朝



JR 青梅線の御嶽駅に10時集合のはずが、さっそく30分遅れる人発生!

駅前の売り場でキュウリをかじりながら急遽川遊びを提案。遅れた人の罰ゲームもしっかり協議し

ながら多摩川に降りていきました。

河原を目の前にすると「はぐれるといけないから奥に行く時は気をつけようね～」と言っていた人がなぜかどンドン河原に近づいていく…ハッ! もしや河原を独り占めにする気か? 貴様の策は見破ったとばかりにテンションがいきなり最高潮に達したまま川遊びに興じる面々。ヤマメの稚魚を見つけて大はしゃぎしたり、時間は瞬く間に過ぎていきました。



■ケーブルカーまでの移動

全員集合後、改めてケーブルカーまで約2.5kmの道のりを徒歩で進んでいきました。



最初は冗談を飛ばしながら歩を進めていたこのコース、実はバグ発見時期と修正コストの相関図の如く、**ゴールに近づくほど傾斜がきつくなっていくコース**だったので。しかも自分で期待していたより体力が落ちていることが発覚し、最後はくじけそうな仲間を「あのカーブを曲がったらゴール見えるからガンバ!」と嘘(笑)を交えつつ励まし合いながら見事ゴールまで辿り着くことが出来ました。



■御岳神社にて

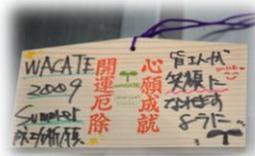
ケーブルカーで御岳山中腹まで移動後、御岳神社に向かって出発します。



既にやりきった感漂う仲間を励ましつつ御岳神社に到着。



全員でおみくじ大会の後は絵馬に「WACATE 2009 夏」と「WACATE-Magazine」、「WACATE Short Short」の今後の発展を願掛けしました。



WACATE Short Short が目指すのは Vol. 100 突破とのべ参加人数 1000 人突破! 写真は次回予告入りなのでよ〜く見てね♪

■日ノ出山山頂にて

本日のゴール地点である日ノ出山山頂に到着。天気が良ければ新宿の高層ビル群まで一望できる絶景ポイントです。しかし予定がすでに一時間半遅れていたのので昼食イベントに早速取りかかりました。



■昼食イベント「食べて覚える HAYST 法」

本日最も力を入れた注目のイベント、「食べて覚える HAYST 法」の始まりです。今日まで脳内シミュレーションを幾度も繰り返し、下記の手順で至高のサンドイッチを作り出す手筈でした。

- ・みんなで持ち寄った具材をポストイットに記入する
- ・似ている具材同士をグルーピングする
- ・各グループを因子とし、各因子の代表的な具材を水準として直行表に並べていく
- ・直行表の組合せにそって一人一品サンドイッチを調理していく
- ・出来たサンドイッチを命名して試食開始
- ・品評後、より美味しい組み合わせを探索していく

シミュレーション上はうまくいくはずが実際は…



グルーピングを済ませたあたりから、明らかに場の空気が変わってくるのを寒気と共に首の裏側で感じ取りました。

- ・全員の口数が少なくなる、と言うか誰も話さなくなる
- ・視線が具材に集中して動かない
- ・バターロールの単体テストを開始する人が出る
- ・「みんなで探索的テストにしない？」の一言で私以外が一致団結



山頂に来るまで体力を限界近く酷使した上にこの大自然の開放感、やばい、野生の本能が目覚め始めている、暴れ出したら絶対手に負えないよこの人たち！ もうこの場を切り抜けるには自分の力を信じるほか無い！



そこから先はとにかく手を止めず、この日のために毎食サンドイッチを作って鍛えた腕を披露して感心を集めつつ、何とか一品だけ直交表通りのサンドイッチを作ることが出来ました。この一品は最も一般的な組み合わせにただけあって大好評！ その後は自由に作ってみんなで分けて食べるルールに変更しました。



サンドイッチはピーナツ味噌や韓国ノリが普通に美味しかったり、デスソースをかけてデスマーチでも流さなかった涙が止まらなくなったり、意外な発見や微妙な味わいに腹の底から笑いが絶えませんでした。みんなで一緒に一つのものを作る楽しさは、イベントの種類にかかわらずとても楽しい経験ではないでしょうか。



■宴会



お昼を食べた後は、立川駅まで戻って銭湯で汗を流してから宴会です。WACATE 2009 夏直前と言うことで、とてもここでは書けない裏話が出るわ出るわ、WACATE を見る目がガラッと変わる情報満載の一席でした。

■最後に

無事イベントを終えることが出来、名幹事と褒めていただけたのがとてもうれしかったです。イベントの告知が遅れに遅れたり、反省点も多々ありますが、その反省点は今後活かしていきます！

願掛けにも書いたとおり目標は Vol.100 突破！そして最初に書いたとおり WACATE Short Short は WACATE ファン主体で作り上げていくイベントです。イベントを成功させることは苦勞の連続ですが、**勇気を出して手を挙げた時点で半分は成功しています。もう半分もきっと手を差し伸べてくれる人が現れます。そう考えれば手を挙げてみるのって、とても素敵なことだと思いませんか？(おたべ)**



集え！WACATEファンよ！（笑）

伊せんばいにきく。 式

第6回：【テストエンジニアが紹介する要件定義】(株)TIS 鈴木 三紀夫 先輩

「いつから要件定義の担当になったのだろうか？」

レインボーブリッジのそばの三角形ビルを見上げながら駅に向かう。

僕はテストの専門家として今の部署に異動したはずだった。どのタイミングで担当が変わったのか思い出そうとしたが何も思い出せない。そういえば、上司から「明日から要件定義をテーマにして欲しい」などと言われた記憶は無い。何がきっかけだったのか。いや、そんなことはたいしたことではない。僕がこのスペースに書くこうしていることは別のことだ。僕が書きたいと思っていることは、要件定義の世界に迷い込んだ状況だ。そう、ソフトウェアテストをやってきた人間が、要件定義の世界を垣間見た風景をスケッチしたいと思っている。

新しい学問を学ぶ方法は人それぞれである。僕のやり方は、その世界で用いられている単語を学ぶことから始める。今回も要件定義で用いられる用語を自分なりに整理しようと思い、いくつかの文献にあたってみた。すると「要件定義」に関する言葉がいくつも僕の目の前に現れてきた。

要求工学、要求開発、要件開発、要求定義、要件定義……

ソフトウェアテストでも評価や検証、検査といった類似の言葉を使うこともある。だから同じ状況だと言えるかもしれない。しかし、ソフトウェアテストという単語は他を圧倒しているように感じる。要件定義はそうではない。学問の世界では要求工学が主流のようだが現場は違う。さまざまな思惑から会社ごとに、いや、人ごとに使う単語が違う。例えばこんな景色がいたるところにある。

要求定義と要件定義に本質的な違いはないという人がいる。育った文化によって言葉が違うだけで、指している内容は一緒だというのだ。これに対して、要求定義をやってから要件定義をやるという会社がある。この場合、要求と要件は違うものとして扱っている。

別の人は、要件定義を業務要件定義とシステム要件定義に分け、業務要件定義と要求定義はほぼ同じものであると言っている。別の人は、業務要件定義やシステム要件定義のなかにそれぞれ要求獲得と要件定義があると言っている。

要求と要件、2つに分けて使うのはおかしい。英語では両方とも Requirement なのだから同じはずだという人がいる。それを聞いた別の人は、「要求も要件も同じとは、なんとずさんな思考をしているのだ。」と怒りだし、「英語にないというのなら日本から世界に向かって提案すべきだろう」と熱く語る。

「要件という言葉を使うのはやめたらどうだろう。これからは、要求と仕様。これなら英語でも通じる」と提案をした人のそばで、「要求仕様はどうなるの？」と突っ込まれ黙ってしまうということもある。

どうやら要件定義の世界は発展の途上であり、混沌とした風景がまだ残っているようなのだ。テストエンジニアである僕が近寄ってはいけない世界だったのかもしれない。

とはいえ、僕がどのように要件定義の世界を認識しているかを書き記すことが誰かの役に立つかもしれない。

今時点の僕は次のように見ている。

因子：ステークホルダーの要求

水準：ビジネス（経営層）、業務（ユーザ部門）、システム（情報システム部門）

因子：要求の確からしさ、確度

水準：要望、要求、要件

因子：要求の細かさ度合い、粒度

水準：概念レベル、ハイレベル、ローレベル

因子：機能／非機能要求

水準：機能、非機能

すべてを掛け合わせると54の組合せができる。

		機能		非機能	
ビジネス	要望	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
	要求	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
	要件	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
業務	要望	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
	要求	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
	要件	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
システム	要望	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
	要求	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			
	要件	概念レベル			
		ハイレベル			
		ローレベル			

要件定義に関する話を聞くととき、この54マスをイメージして、どのあたりの内容を話しているかを判断している。この54マスを頭の中にイメージできるようになってから、要件定義に関するどのような単語を話者が使っても、その言葉自体に左右されることは少なくなった。カオスな世界を歩くためには不十分な地図かもしれないが、多少は使えるようだ。

この地図を持って僕は、要件定義の世界をさまよう。

ワカテにきく

第6回：【もっと楽しくテストするためにひと工夫】 まっく

WACATE-Magazineの読者の皆さん、こんにちは。まっくです。「もっと楽しくテストするためにひと工夫」と題してコラムを書かせていただきます。

漫然とテストしていても面白くない... そんな時、何か自分なりにひと工夫して、楽しくすればいいんじゃないかと思ってやってみたことがあります。その中からいくつかを紹介しつつ、テストに対する想いもつづろうと思います。

◆自分納期を設定！

与えられため切よりも、自分納期を前倒して設定。かつ自分納期の後には予定を入れてしまう。そうすると予定をつぶしたくないので、いつもより集中してテストすることができます。テストをやり切った爽快感で、**予定も楽しく過ごせるおまけ付き**。空いた時間に、別の機能をテストしたり、勉強したりするのもいいですね♪

◆いつもと作業順序を変える！

テストケースを作りきってからテストするのではなく、作りながらテストするとか。最終的な結果としてテストケースが網羅されていればOK。テスト対象の理解が薄い時には、実際に動かさないとわからないことってありますからね... 順番を変えると景色が少し変わって楽しいものです。

◆テスト実行前にバグ発見を目論む！

テストケースの作成中に、仕様の矛盾やソースとの不整合を見つけるよう意図的に目論みます。そうすると実行してバグを見つけることとは違った楽しさがあるものです。テストを実行しないので、コーディング完了前でも始めることができます。早くバグを見つけると、手戻りが少なくなり**プロジェクトへ貢献**できた気持ちになります。(^^♪

◆全力で出荷を阻止する！（ように意識する。）

マイヤーズ曰く「テストとは、エラーを見つけるつもりでプログラムを実行する過程である。」です。自分が出荷権限者という意識を持つと、テストにも気合が入ります。プロジェクト全体を考えると少し不謹慎な心構えですが、テストするからにはエラーを見つけたいものです。ただ「出荷を阻止してやるぜ！」なーんて**実際に声に出しちゃ駄目ですよ**。(^^ゞ



◆バグが多そうな機能をテストする！

テストするなら、バグを多く見つけたほうが楽しいものです。怪しい機能を担当できるように上司にお願いしてみましょ！何が怪しいかは、前評判や誰がいつ作ったとかなどから推測できるケースが多いです。怪しいと思った機能から本当にバグが出たら嬉しくなってきます。そして「見る目があるなあ。」と**こっそり喜びます**。

◆テスト対象の素性を洗う！

テスト対象の弱点を徹底的に分析してみるということです。新規作成か改修か、ある部品は他所から流用してきたとか、デバッグの実施レベルやアルゴリズムが複雑な部分など素性を洗って、**弱いと思われる箇所をひたすら責めます**。意図して狙いが当たると楽しくて仕方ありません。~(o~)ノ

◆ちょっと新しいことを取り入れてみる！

慣れたやり方でテストしても困らないことが多いと思います。が、**新しい試みを少し取り入れると新鮮な感じで楽しいです**。新しい「手法」「ツール」や報告や相談の仕方といった「コミュニケーション」など色々。たとえ失敗しても「**試してみてやってよかった**。」と思えます。

などなど何かをテーマを持ってテストするだけで、いつもと何かが変わってきます。毎回、違うテーマにするのもいいかもしれません。みなさんも自分なりのテーマを持ってテストに臨んでみて下さい。きっと**楽しくテスト**できると思いますよ♪

本コーナーはリレーコラム形式で進めています。
今回は WACATE Short Short vol.1 にご参加いただいた、まっくさんに書いていただきました。
有難うございました★

Software Test Topics

当番：上田 卓由 (WACATE Magazine 編集部)

こんにちは！上田です。

今月も SoftwareTestTopics を担当させていただくことになりました。

それでは、書籍やイベントをいろいろご紹介していきます～

Quality One vol.6 2009年5月号

発行元：株式会社日科技術出版社

形態：PDF

価格：無料

「顧客に聞く。経営に効く。気になる品質は？」、「TEF 札幌テスト勉強会のご紹介」、「ISQIBOKR Guide について 第4回 (最終回)」、「ISQP シンポジウム 2009 へ参加してみよう！」、「あなたの体のサビ度チェック」という構成になっています。

サビ度、何点でしたでしょうか？

ちなみに上田は9点で「ところどころ錆びかみられます。」でした・・・

経験ゼロでもできるプログラミング現場の単体テスト

著者：片桐 一宗

出版社：翔泳社

発行日：2009年5月29日

形態：単行本

価格：2,625円

「経験ゼロの人でも無理なく身につく」「多忙な現場でも実践できて効果が見える」ということで、現場を意識した内容のようです。

JavaによるWebアプリケーション開発を通して、JUnitなどの使い方やテスト環境の構築方法についての解説などです。

第31回 S-Open ホットセッション～BOF(懇親会)

実施日：2009年7月11日(土)

ホットセッション：13:30～17:30

BOF(懇親会)：18:00～20:00

場所：[日科技連 千駄ヶ谷ビル 3号館2階講堂](#)

参加費：

ホットセッション(S-Open 会員、学生、20代、30代)：2,000円

ホットセッション(一般)：5,000円

BOF(懇親会)：2,000円

ホットセッションの構成は、「挨拶」、「講演1 まつもとゆきひろ氏」、「講演2 丸岡孝司氏」、「ライトニングトークス」となっています。

ライトニングトークスのスピーカーを募集中です(募集期限は7月3日です) 詳細は [S-openホームページ](#) をご参照ください。

世界のすべてをテストせよ。

～Make the world Green by Test!～

主催：DevLOVE

実施日：009年6月22日19時より本編開始(18時40分より受付)

場所：[芝浦港南区民センター第1集会室 \(JR 田町/都営三田線三田\)](#)

テストをテーマとする講義、LT、参加者同士によるディスカッションなどを予定しています。現場のテストを変えたい方、テストに対する思いや疑問をぶつきたいという方、大歓迎です。ぜひご参加下さい!

主催は、開発の楽しさを発見したいひと・開発現場を前進させたいひとのためのコミュニティ「DevLOVE」です。詳しく知りたい方は、[こちら](#)。

さて、WACATE 2009 夏が目前になりましたね!

今回は「テストレビュー」というテーマですので、レビュー関連の書籍をご紹介したいと思います。

ソフトウェアインスペクション

著者：Tom Gilb(著), Dorothy Graham(著)

伊士 誠一(翻訳), 高野 寿(翻訳)

出版社：構想恒研究所

発売日：1999年8月

形態：単行本

価格：5,250円

インスペクションとは何か? どのようなワークフローを行えばよいのか? などについて詳細に記載されています。

ピアレビュー—高品質ソフトウェア開発のために

著者：Karl E. Wieggers(著), 大久保 雅一(監訳)

出版社：日経BPソフトプレス

発売日：2004年2月

形態：単行本

価格：3,045円

「ペア」ではなく、「ピア」です。

同僚同士が行うレビューの重要性などについて記載されていて、実務的な内容としてまとまっています。

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくれない?」といったものでも OK です。開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。情報をお待ちしております m(_ _)m

WACATE Short Short

vol.3

前夜祭!

2009年6月12日(金)20:00~

WACATE Short Short

vol.4

後夜祭!

2009年6月14日(金)18:00~

池田暁の

ミュージカルに恋して。

【第六幕】—世知辛い世の中だからこそ劇場で幸福感を—

♪なんでも書いてみるもので。

前回、最近ミュージカルの話題をきっかけに話しかけていただけが多くなったと書きました。そうしたら、より話しかけていただけるようになりました。それに加えて、「今度ご一緒しましょう」とか、「一度連れて行ってください」という声もいただくようになりました。

ミュージカルが好きで自分としては、こうして興味を持っていただくのは嬉しいものです。 まだ一度も観たことがない人には、はまるかはまらないか、楽しめるか楽しめないかはおいといて、物は試しと人生に一回くらい経験してほしい！

ということで、ちょうど6月は初心者にもオススメな演目が上演されますので、今回の小話はそれをご紹介しますと思います。

♪「ミー&マイガール」

今回初心者の方にオススメするのは、6月3日に初日を迎える東宝版「ミー&マイガール」。東宝による上演は今回が3度目となります（東宝版のほかには、宝塚版もあります）。主演は若手俳優の中ではピカイチの二人が努めます。ビル役を井上芳雄さん、サリー役を笹本玲奈さん。ちょうどWACATE参加者と同年代（井上さんは29歳、笹本さんは23歳）ということもあり、身近に感じられるのではないのでしょうか。

♪ハッピーであること、一緒に盛り上げられること

詳しいあらすじはオフィシャルサイトを見ていただくとして、今回なぜ初心者におススメしたいかという点、その最大の理由は「ミュージカル・コメディ」であることです。ミュージカルは悲しいお話が多いです。おそらく皆さんが耳にしたことがある演目の殆どが悲劇の要素が強いものだと思います。しかしながら、ミー&マイは実に素直で明るい、純粋にコメディです。

また、コメディといっても、大抵キャラクタには悪人が一人は混じっているものですが、ミー&マイには悪人が存在しません。ですから、悲しいとか辛いとかいったマイナスの感情はあまり刺激されず、**プラスの感情がずっと刺激されます。**ビルは底抜けに明るくポジティブな性格ですし、サリーも明るく相手の事を考えることができるとてもいい性格。そして、二人は純粋に、まっすぐにお互いを愛しています。若い二人のキャスティングも相まって、とてもみずみずしい印象を与えてくれます。

それから、舞台と客席が一緒にハッピーになれる魔法のナンバーがあります。一幕最後の「ランベスウォーク」というナンバーがそれです。ビルの伯爵としてのお披露目会で、ビルとサリー、そしてランベスの仲間、最後には出席している貴族達も巻き込んで踊りまくる、とてもテンションの高いナンバーです。このとき、キャストは客席に降りて踊りまくり、歌いまくりです。席の間を縦横無尽に駆け回ります。しかもこのとき、**お客も踊りまくり歌いまくり状態で、まさに舞台と客席が一体となります。**一幕が降りたあとの劇場には、なんともいえない幸福感が充滿していて、これがミー&マイの魅力のひとつといえるでしょう。

♪アトラクションのようなセットと目立ちまくるバンド

セットはまるで遊園地のアトラクションのようです。絵本的なイメージを持つ方もいるのでしょうか。場面の転換はそう多くないですが、帝国劇場の舞台の大きさを良く使っています。スケール感を感じることができます。

それから、アンサンブルも縦横無尽に活躍します。古きよきミュージカルなので、主人公（ビル）はですっぱり、科白も多いのですが、アンサンブルも負けじとですっぱりです。30人にも及ぶアンサンブルのタップダンスは見所といえるでしょう。また、40人規模の歌唱は聴く人に大きな感動を与えてくれます。

それから、活躍するのはキャストだけではなく、普段オーケストラピットの中にあるオーケストラバンドですが、**Overture やいくつかの楽曲では客席と同じ高さまで床がせりあがっており、普段見られないバンド演奏を堪能することができます。**バンドマスターはミュージカル会で有名な塩田さん、トークもダンスも冴え渡り、「指揮者がこんなに目だっているの？」と驚くこと請け合いです。



♪一緒に幸福感を味わいませんか？

いろいろと書いてきましたが、ストーリーはシンプルながら、実に楽しい演目で、幸福感に満ち溢れています。奇をてらわず素直なお話ですから万人におススメできます。きっといい気分転換になると思います。

ということで、ここでひとつ提案ですが、この「ミー&マイガール」一緒に観劇しませんか？ 観てみたいけど一人だとなんだか不安だし、終わった後に打ち上げもしたいし、なーんて思っている方は是非ご一緒しましょう。WACATE-SSSとして提案してもいいのですが、基本的には以下のルールとします。

- ・6/27(土) 17:00 開演のチケットを各自で入手
- ・6/27(土) 16:00 に帝国劇場地上入り口に集合
- ・終演後、近くで打ち上げ

もし「よーし、行くぜ！」という方は、チケットを購入の上、以下のサイトでエントリーをお願いします！

■エントリーはコチラ

<http://www.utage.org/enkai/>

宴会コード：WACATE-SSS

■公演に関する詳しい情報

★ミー&マイガール オフィシャルサイト

http://www.tohostage.com/me_and_mygirl/

あらすじやキャスト情報のほか、ダイジェスト動画も見られます。

★東宝ナビザーブ（オンラインチケット）

<http://www.tohostage.com/newnavi.html>

座席指定ができるのでおすすめです。

劇場で沢山の方とお会いできると嬉しいです！(^-^)

♪2009年5月の観劇記♪

今月は忙しくて、3回しか劇場に足を運ばませんでした。(涙)

♪「マイ・フェア・レディ」(帝国劇場)

5/1(金) マチネ、千種楽、1階、下手側サブセンターで観劇。演出は西川信廣。4月に初日を観劇したわけだが、それに続き二回目の観劇となる。

内容については先月号に書いたので差し控える。初日は新しく参加したキャストの不安定さが気になったが、さすがに一月の公演となるとなじんでくるものである。全体的に安定感が増えているので安心して観劇できた。また千種楽ということもありアドリブも見られ、お祭りのような熱気があった。当日の客も長いこと通っている方が多かったようで、拍手も大きかったですね。最後の場は何度見てもそこはかたない愛情が満ち溢れている。

しかしながら、この日は学生の団体観劇が入っており、千種楽の雰囲気が無視であった。これに関しては、学校と劇場に強い疑問が生じた。本当に残念。

♪「シラノ」(日生劇場)

5/19(火)、1階、下手側サブセンターで観劇。世界初演。演出は山田和也。

フランク・ワイルドホーンの楽曲はやはり良かったのだが、演出がついてきていない。全体通してどこか学芸会っぽく見えてしまうと。特に一幕は喜劇的な要素が強いが、平坦で深みもないため、個性の強いプリンシパル達が浮いてしまい、ちぐはぐな印象がある。中途半端にコメディの方向に振るのではなく、もっとシラノの内面、苦悩の部分を掘り下げるべきではなかったか。

シラノ=鹿賀丈史は、前述のとおり非常に軽い役柄になってしまい、あまりいい役を演じたとは思わない。ロクサーヌ=朝海ひかるは、宝塚退団後から歌唱力に進歩が見られるが、もうひとつという印象。直前に演じていたエリザベートからすると物足りない。クリスチャン=浦井などもよく演じていたと思うが、演出面から魅力が引き出されていない。キャスト自体は豪華なだけに、終始もったいないという印象が強かった。

この内容であればもう少しぎゅっと凝縮して、シアタークリエくらいの規模で上演しても良い気がする。

♪「この森で、天使はバスを降りた」(シアタークリエ)

5/31(日) マチネ、千種楽を18列センターブロックにて観劇。同名映画をミュージカル化した演目。演出は藤井清美。

ミーハーで申し訳ないが、当初は大塚ちひろが目的で、演目自体にさほど大きな期待を持ってはいなかった。そういったわけで、大きな期待は持たずの観劇となったわけだが、**いい方向に期待を裏切られることになった。**

キャストは誰もが歌を聴かせることができる。特に土居裕子は流石ですね。もはや聞きほれるしかないといった感じ。大塚ちひろ、上手くなりましたね。レベッカよりも感情が入っているように見えた。剣幸は円熟。本当にうまい。

楽曲はアコースティックで、編成も基本アコースティックギター、ピアノ・ヴァイオリンの構成で、ミュージシャンも4人である。このシンプルな構成がシンプルなシナリオやシンプルなセットとよく調和していた。また、いいミュージシャンを揃えていたようで演奏の安定感と表現力は感心。

決して派手ではないが、各キャラクターが掘り下げられており、そして各キャストともよく演じていた。シアタークリエの空間を上手く生かした佳作だと思う。同名映画に比較すると、最後のシーンは救いがあるものになっていたのも良かったですね。

じんわりと心に何かが残る、暖かいミュージカルであった。こういう話には基本的に弱い。一幕の途中からこれでもかというくらいに泣いてしまい、終演後もしばらく少しの刺激で泣いてしまいそうになるくらい心が動いてしまった。是非とも再演を実現してほしい。

♪2009年6月のキニナル演目♪

6月のキニナル演目は「**ミー&マイガール**」内容は…冒頭に書きましたからいいでしょう。私は初日と前楽、千種楽とチケットを入手済み。あと数回は暇を見て観劇する予定です。

♪今月の一枚「ラ・カージュ・オ・フォール」

今年の観劇納めの演目となったラ・カージュ・オ・フォールのライブ録音盤が4月に発売となりました。

何度聴いても市村正親の上手さが印象に残ります。また、可鹿賀丈史との掛け合いが絶品ですね。いくら四季時代からの付き合いとはいえ、その息の合い方は本当にカップルと思えてくるから不思議。

楽曲ですが、まず「プレリュード」のワクワク感がいいですね。さあ今から幕があがるぞーっと気分が盛り上がっていきます。それから、1幕最後、そしてザザの大ナンバーとなる「ありのままの私」は何度聴いても心を打ちますね。また、家族愛についての曲「見てごらん」、「見てごらん(リプライズ)」は本当にいい曲。不意に家族に会いたくなる曲です。

なお、このCDは一般のCDショップ等では販売されておらず、東宝系の劇場や銀座の山野楽器にて販売されています。また、東宝のWebショップでの購入が可能です。



♪終わりに♪

さて、6月はなんといっても「ミー&マイガール」ですね。おそらく**最低5回は観劇することになるのではないのでしょうか。**そのほかは、市村正親主演の「炎の人」や「6月歌舞伎」を観劇の予定です。ひょっとしたらシアタークリエで上演される「ゼブラ」も観るかもしれません。

WACATE-Blog出張所

5がつ23にち(どようび)



初夏の奥多摩に行ってきました〜☆

参加者は7名！
でもって女性が3名〜
うおお、女性参加率がこれだけ高いのは初めてだぞお！！

ところで、いつもこういうイベントには欠かせない副実行委員長がいない気が・・・；
実は前夜、実行委員にこんなメールが流れてきました。

すみません、花粉症の症状が酷いので山は無理っすorz
#マスクの備蓄が無くなりそうなのに、街にマスクが無いー

んー、都会っちな副実行委員長；
花粉に負けているようではまだまだ修行が足りませぬぞ！w

さてさて、
ひととおりのお話は特集で載せていますので、ここではひとつの事件にスポットを当てましょう。

今回、具材やトッピングや調味料を持ってこいということで、食卓をふと見つめると、そこには一本の未開封のビン。夫が職場でもらってきたそれは・・・



「アフターデスソース〜!!!」(ドラえもん調♪)

どうやらとても辛いらしいという情報とともに持参〜
(ん？単体テスト済みであることが条件だったはずだが・・・?)

そして山頂でのサンドイッチ組み合わせテスト実行時のこと。
んー、どういう組み合わせにすんべー・・・と悩んでいたときに

「かっ、川西さん?!!・・・」と誰かの声が。
ふと見上げてみると、そこには・・・

「デスソースとケチャップを間違えたんじゃないのか?!!!!」
と言いたくなるほどデスソースをかけたロールパン魚肉ソーセージドッグを持った川西さんの姿が・・・

うわあああ川西さん、なんと無謀なことを〜；
そしてそれを頼張った彼に(当然)悲劇が起こったわけです・・・



そして1/3程度食べたあとの「アフターデスロールパンドッグ」は、しばし食卓の上にその雄姿を公開していたのですが・・・
「なんか残ってるんだけど・・・?!」

そんな非情な声があがるのもお約束デス。
そして、川西さんは残りもちゃんと完食したのです。ううん、漢だ!!!



・・・でも川西さん、泣いてるよ〜；o；

あーあ；WACATE ファン1号の偉大な人を泣かしちゃったorz

とゆー光景を見て興味をもった実行委員長
自作のサンドイッチに軽く垂らしてみた!!!

そしてさらに3名ほど死人がでたのでしたw
まあ川西さんに比べたら本当に微量ではありましたが、復帰も早かったようですがあ



ちなみに私もちゃんと食べましたよお(ロールパンもひとかけらほど)
たまごパンのティラミスキャベツサンド(なかなか美味)を片手に中和させながらですケド。

「量さえ間違えなければ」絶品です。辛いのが好きな方にはお勧め?♪

書いた人：ばんばん

開運

源太郎のソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…

日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	6月の運勢
一水星	S47/S56/H2	本命星中宮星と水剋火の相剋基だ凶運の月、 兎角ことごとに出鼻をくじかれる 如く、物事渋滞勝ちにて心が逸れスムーズに行かず、はたと当惑する月なり、然し頑坐せず、心引き締めて奮闘努力し運命と戦え、 然らば必ず運氣自然に好転し事業も成功するであろう。
二黒土星	S46/S55/H1	本命星中宮と、水剋土相剋にて野心満々と湧き、何か企てたくなる、 利益は潤沢ではあるが、余程慎まねば危険なり 、兎角邪魔が入り、失敗を招き易く、然し万時怠らず、 予め覚悟をしてゆっくりと進めば大事に到らずに済む。
三碧木星	S45/S54/S63	年中一度の盛運、連月の衰運が転じて幸福となり、 進歩発達に恵まれたる月なる故この好機を逃さず努力すべし 、然し軌道を逸して 猛進はかえって災いを招くから注意すべし 、縁談・開業・移転・旅行等、好結果を得る、実行に移すべし♪
四緑木星	S44/S53/S62	旭日東天に映え、大いに飛躍に精進すべし、かねての 計画中のことを早く実行に移すべし 必ず成功す、然し 金銭の間違いを生じ易い 、縁談・開業・建築・移転など、吉日を選んで行うべし、 北は暗剣殺巡り凶方なので、この方位で行うことは特に注意すべし！
五黄土星	S43/S52/S61	平穏の月にて吉凶相反する然し生来の 放縱の心を以てすれば到底平穩無事には過し難し 、心を張り詰めて精を出し一家の 不和・訴訟・争論 など起らぬ様、 平素より心掛けた虚栄心を慎め 、住所の変動・職業に変化なき様、努力すべきなり。
六白金星	S42/S51/S60	本命星中宮星と相性にて運氣盛んなるも、 暗剣殺にめぐり合う故、進退共に平坦なる道を往来する様な訳にはゆかぬ為 に 労苦あり 、 努力の効果は少なけれども、嫌むにやなく活動せよ 、一身の損失病難等、心掛けた如何によって予防し得るべし、旅行・建築・婚姻等見合わせるべし。
七赤金星	S41/S50/S59	先月にも劣らぬ 幸運盛大の月なり 、予め計画の事業は機が熟す、 この機を逸しては再び還らず 、奮闘努力して事業の発展を図れば必ず成就す、投機事業も見込みあり、分外の望を起さず、 真面目に手堅くやれば大いに成功す 、 北から災い来る、気を付けよ！！
八白土星	S40/S49/S58	大棟は蟻の一穴より崩れる如く 、小事より大事を惹き起し易し、 我意を押し通さず 、 他人と争わず真面目に進めば、必ず福運を招来する も兎角期待はずれの事多ければ、深入りせぬよう自重して進め、 北は暗剣殺この方位で事を興せば破れる恐れあり。
九紫火星	S39/S48/S57	俄然衰運月 、正に前途暗雲低迷である、些細な事から 物事渋滞 または 行詰りを生じ焦れば焦るほど損失を招く 、 自己の職分に満足し熱心に活動すれば、必ず利あり 、もし動き迷えば忍ち悪境となる、常に健康に注意し安全なる方法を取って進め。

月盤 三碧木星				年盤 九紫火星			
南		暗剣殺		南		暗剣殺	
東	9	5	7	東	8	4	6
	8	1	3		7	9	2
	4	6	2		3	5	1
西	五黄殺		北	西	五黄殺		北

◆今月の全体運

今月の木星(三碧・四緑)の方は、今年一番のラッキーな月です♪

年盤で相性となる九紫火星が中宮(中心)にあり、月盤ではこれまた相性となる一白水星が中宮にあり、運氣としては、最高の月です。是非このチャンスを生かしてください！

それ以外の方、今月は一白水星の影響で物事が滞りやすくなりますが、一白水星のもうひとつの顔・・・

努力・縁の下の力持ち・奉仕等には、最適な月ですので・・・

”物事が捗らない”と嘆いていないで！ 皆さんも何か勉強を始めてみては如何でしょうか？！

お知らせ

6月30日(tue)にWACATE-Magazine vol.7 発行します!(たぶん)

次号の特集は「WACATE2009 夏 特集!」を予定しています★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。

来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。

特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。

レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などは行いません。

単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。

公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方はWACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。

折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。

楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
- イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
- デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)

などなど、お待ちしております♪

きたれ 次世代の戦士達よ

WACATE実行委員募集
詳しくは以下のURLまで。
<http://wacate.jp>



★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

編集後記

いいんちょ★WACATE2009 夏は計80名にて開催! 大いに盛り上がりましょう!

ぶくいいんちょ★毎月末は修羅場という名のシュラシュシュシュ〜(@_@;

よえだ★もう今年も半分終わってしまいましたねえ〜、はやすぎる。。。

あたべ★庭のトマトが実を結び始めました、大事に育てていこう。

コヤマン★さあ夏ですヨ! 皆さん楽しんでしましょー+

はしばん★いよいよ今月開催!! ドッキゅん♥

あらかみ★もうすぐ本番!! WACATEの分科会で、占い師登場…?

★あくづり★

2009/6/7(sun)はっこ

WACATE-Magazine へんしゅ

✉ Magazine@wacate.jp

<http://wacate.jp/Magazine/>